



融雪期は1週間程度遅れる可能性あり！ 作業スケジュールの調整を！

J A たきかわ 営農部
米 部 会
空知東部地区農業改良普及センター

本年の融雪は平年と比べかなり遅れているため、例年の作業スケジュールでは置床の乾燥不十分、低温などによる育苗障害が発生する恐れがあります。

各地の積雪深（4月1日現在）

	3月10日	3月20日	4月1日	4月10日	融雪期
滝川平均 （＃平年）	1 3 2 cm (9 1)	1 1 4 cm (7 3)	8 0 cm (4 5)	cm (1 7)	(4月11日)
赤平平均 （＃平年）	1 0 8 (8 2)	9 7 (6 9)	7 3 (3 9)	(1 4)	(4月10日)
芦別平均 （＃平年）	9 9 (8 0)	9 2 (6 6)	7 1 (3 8)	(1 6)	(4月10日)
地区平均 （＃平年）	1 2 0 (8 5)	1 0 6 (7 0)	7 7 (4 1)	(1 6)	4月18日見込み (4月11日)

育苗ハウスの設置と地温上昇対策

- ・ビニールハウスを掛け、置床の乾燥と地温の上昇に努める。
- ・融雪水が育苗ハウス内に浸透しないようハウス周辺の排水対策に努める。

種子予措

- ・H16年産種籾は登熟期の気温が高く経過したことなどで、休眠が深くなっている場合があります。浸漬日数はやや長め（1～2日延長）にして十分吸水させてから催芽します。

浸漬水温	浸漬日数	備 考
1 0	9～10日	
1 1	8～9日	この範囲が適水温と適日数
1 2	7～8日	

サラン袋には満杯に入れずに、7、8 kg程度（八分目）に入れる。
酸素不足にならないように、2日に1回は新しい水に換える。
酸素を供給するために、1日に1回、水から種籾を短時間あげる。

朝晩の気温が0 を下回る日には、種籾の凍結事故に注意を！
水田の雪が融けたら停滞水の除去を！

置床をしっかりと乾かそう！

